

★ 催し

■高村光太郎生誕140年記念事業 続「なぜ 光太郎は花巻にきたのか？」

コーディネーターに小山弘明さん、パネラーに宮澤和樹さんほかをお迎えし、高村光太郎についてのトークリレーを開催します。
 【期日】11月1日(水)
 【時間】午後2時(開場は午後1時30分)
 【会場】宮沢賢治イーハトーブ館
 【定員】200人(当日先着順)
 ※入場無料、申し込み不要です
 【問い合わせ】太田地区振興会(☎28-2134)

■花巻市民芸術祭市民コンサート

市民芸術祭展示部門開催中の文化会館で、市民で構成している芸術文化団体がリレー形式で公演を行います。
 【日時】11月5日(日)、午前10時
 【出演】花巻舞友会 ほか
 ※入場無料、出入り自由のコンサートです
 【会場・問い合わせ】文化会館(☎24-6511)

■岩手県立中部病院 病院祭

地域の皆さんに医療や健康を身近に感じていただくため、病院祭を開催します。
 【日時】11月11日(土)、午後0時30分～3時30分
 【会場】岩手県立中部病院
 【内容】健康ミニ講座、体験コーナー、消防車・救急車見学体験、白衣試着体験、クイズラリー、屋台コーナー
 ※来場の際にはマスク着用をお願いします。また、当日は入場人数を調整しながら行います。詳しくは病院ホームページをご覧ください
 【問い合わせ】岩手県立中部病院事務局(☎0197-71-1511)

■まち歩きイベント

「フォトロゲイニングin花巻2023」地図をもとにチェックポイントを回り、見本と同じ写真を撮影することで得点を稼ぐゲーム形式のまち歩きイベントです。
 【日時】11月12日(日)、午前9時30分受け付け、午前10時30分スタート
 【集合場所】ホテルグランシェール花巻
 【定員】80チーム(先着順。チーム単位(2～5人)のエントリーです)
 【参加料】大人(中学生以上)2,000円、小学生500円(保険料などを含む)
 ※未就学児無料
 【申込期限】10月29日(日)
 【申し込み方法】ウェブサイト「スポーツエントリー」から申し込み
 【問い合わせ】フォトロゲイニングin花巻2023事務局(ホテルグランシェール花巻内☎22-7777)



✎ 学び

■2023花巻市地域づくり講演会

相手の意見を聴き、その価値観を認め、全員で答えの本質に近づくような話し合いである「対話」によるまちづくりについて学びます。
 【日時】11月13日(月)、午後1時30分～5時
 【会場】なはんプラザ
 【内容】▶講演「世代を超えてつながり協力する地域づくりのコツとは一福津市津屋崎での空き家活用と人口増加の取り組み」(講師は慶應義塾大学大学院特任教授の山口覚さん)▶参加者同士の話し合い
 【申込期限】11月7日(火)
 【参加料】無料
 【申し込み方法】電話またはメールで下記へ申し込み
 【問い合わせ・申し込み】①地域づくり課地域支援室(☎41-3515 ②chishin@city.hanamaki.iwate.jp)

■食育講座(糖尿病予防編)

【対象】市内に在住または在勤している18歳以上の人
 【期日】11月21日(火)
 【時間】午後6時30分～7時30分
 【会場】花巻保健センター
 【内容】血糖が高くなる仕組みと予防・改善する食生活のポイント(講師は健康づくり課の保健師および栄養士)
 【定員】30人(先着順)
 【申し込み方法】市ホームページ内の申し込みフォームから申し込み、または電話にて下記へ【問い合わせ・申し込み】健康づくり課(☎41-3607)



■イーハトーブ花巻カレッジvol.1

日時	内容	講師
11月16日(木) 19:00～20:30	生活習慣病と予防について	久保本真 教授
11月24日(金) 13:30～15:00	大気圏での身近な環境問題を考える	齊藤貢 教授
12月5日(火) 19:00～20:30	刑事法入門～どうしてそうなる？ 刑事裁判～	藤本幸二 教授

【対象】市内在住または在勤の人
 【会場】まなび学園、なはんプラザ
 【定員】各回30人(抽選)
 【受講料】無料
 【申込期間】10月16日(月)～31日(火)
 【問い合わせ・申し込み】①生涯学習課(☎41-3587)
 ※vol.2については、12月の広報はなまきでお知らせします

■花巻新渡戸記念館移動研修

新渡戸氏ゆかりの地をめぐる研修。奥州市の後藤新平記念館と後藤新平旧宅を訪ねます。
 【日時】11月21日(火)、午前8時50分～午後0時30分
 【集合場所】花巻新渡戸記念館
 【定員】20人(抽選)
 【参加料】100円(入館料)
 【申込期限】10月31日(火)
 【問い合わせ・申し込み】花巻新渡戸記念館(☎31-2120)

「下ノ畑ニ居リマス」。賢治が羅須地人協会の玄閑脇の黒板に書いていた「下ノ畑」は、桜町の雨ニモマケズ詩碑の東側、北上川へ向かって約500mのところにあります。賢治は、藪地の中に約2反4畝(約24ア)ほどを開墾し、白菜やキャベツのほか、当時としては珍しいトマト、チュウリップなどの西洋野菜や花を植えていました。しかし、賢治が他界した後、「下ノ畑」は耕作されず、長年にわたり草木が生い茂った状態でした。その畑を当時のようにできないかと尽力し、維持管理を行っているのが宮沢賢治「下の畑」保存会です。シンボルマークとして、賢治が設計した花壇「涙ぐむ目Tearful eye」を

賢治さん まちづくり

第109回

宮沢賢治「下の畑」保存会

畑の中心に据え、四季折々の花や野菜を育てています。また、賢治作品「春と修羅 第三集」にある「白菜畑」という詩にちなみ、南城小学校の子どもたちと白菜の苗を定植し、収穫も行っています。現在の会員は11人。事務局の松田さんは「この活動をたくさんの人に知ってもらい交流の輪を広げていきたい」と意気込みます。実りの秋を迎える「下ノ畑」。皆さんも賢治の原風景を楽しんでみませんか。

◆宮沢賢治「下の畑」保存会は随時会員を募集しています

【問い合わせ】
 宮沢賢治「下の畑」保存会事務局 松田(☎24-5672)

【問い合わせ】
 本館賢治まちづくり課(☎41-3591)



▲白い標柱が目印の下ノ畑

世界と花巻

ホットスプリングス市民、ベルンドルフ市民・生徒が来花

9月5～10日、姉妹都市米国アーカンソー州ホットスプリングス市から19人の市民が、姉妹都市提携30周年を記念して本市を訪れ、記念式典や花巻まつりに参加し、市民と交流しました。記念式典では、ホットスプリングス市のキルト職人による記念品が披露されたほか、本年の9月8～10日を花巻まつりの日としてホットスプリングス市で公式にお祝いすることを宣誓する宣誓書が読み上げられました。この記念品と宣誓書は、市役所本館1階の市民ホールに掲示していますので、ぜひご覧ください。9月13～19日には、友好都市オーストラリア共和国ニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市から生徒11人と教員1人が本市を訪問。大迫地域の学校を訪れ児童生徒と交流したほか、ホーム



①式典で披露された記念品
 ②山車パレードに参加した訪問団

③大迫小学校での交流④おはさまワインまつりで市民と交流する訪問団

ステイを通じて日本の文化や生活を体験しました。また、9月15～18日には、10人のベルンドルフ市民が本市を訪れ、大迫・ベルンドルフ友好協会主催の歓迎交流会や岩手県日壤協会主催の昼食交流会、おはさまワインまつりなどに参加し、市民との交流を楽しみました。